

2019春季生活闘争

J R 連 合 F A X ニ ュ ー ス

No. 27

2019年2月25日

日本鉄道労働組合連合会

J R 九州労組第2回団体交渉

賃金引き上げ・夏季手当について協議

J R 九州労組は2月22日、2019春季生活闘争の第2回団体交渉を行い、賃金引き上げ要求及び夏季手当要求について協議した。

交渉で組合は、4年連続でベースアップを実施してきたものの、J R 連合が掲げる必達目標賃金に依然として到達していないことや、単体の通期業績予想において経常利益・当期純利益を上方修正したこと、経営が堅調に推移している背景には、これまでの効率化・増収施策に対するJ R 九州労組組合員の理解と協力があり、引き続き、健全な労使関係を基礎に会社の持続的な発展を追求していく必要があること、そのためにも、人材の確保にむけた「人への投資」が重要であることなどを主張し、5年連続となるベースアップの実施を強く求めた。また、夏季手当についても、業績に対して公正な成果配分を行うことを主張するとともに、55歳以上の者に対する加算措置や嘱託再雇用社員・地域社員と社員との支払月数差の是正等も訴えた。

一方会社は、この間のJ R 九州労組組合員の各種施策への理解と協力に対して謝意を示したものの、来年度以降、税制特例措置の期限切れに伴う固定資産税等の増や減価償却費の増が見込まれていることなどを理由に、「現時点でベースアップの実施は非常に厳しいと言わざるを得ない」との見解を示し、夏季手当についても、「今後も慎重に協議していきたい」と述べたものの、組合の主張には否定的な考えを示した。

J R 九州労組は、引き続き、組合員の負託に応えるべく、5年連続のベースアップ獲得をはじめ、あらゆる処遇改善を求めていくこととしている。